



う な ば ら 海 原

題字河原孝好先生

発行
平成 29 年 5 月 1 日
第 45 号
海原会
発行人 徳光和夫
編集責任者 小西洋也

〔海原会事務局〕
〒169-0072 東京都新宿区大久保 3-6-1 海城学園
TEL 03-6233-9631 FAX 03-6233-9641
ホームページ URL <http://www.unabarakai.jp>

海原会総会のお知らせ

海城学園は1891年（明治24年）に佐賀藩の若き軍人として幕末から明治維新を活躍した古賀喜三郎が、我が国が世界の中で発展してゆくために有為の人材育成として本学園の前身、海軍予備校を設立してから昨年で125周年を迎えました。そして海原会もまた95周年を迎えています。

国家としての日本を意識した当時と比べて、現在21世紀は解決すべき課題が国家の枠を超えて地球規模の大きさに広がっています。こうした中で海原会では未来を託せる人材として教育された「若い紳士」を年々受け入れております。平成時代の卒業生と昭和時代の卒業生との世代間格差は共働し融合し同化されています。

総会は海原会活動の原点でもあります。卒業生皆様のご参加をお待ちしています。創立125周年を記念して編集された記念誌も頒布される予定です。

海原会副会長 石原長夫

平成29年6月10日(土) 午後3時～(2時受付)

場所 海城学園講堂

会費 3,000円 但し学生1,000円 新会員は無料

総会後カフェテリアにて懇親会を行います
お誘い合わせてご参加ください

同封の返信はがきにて**5月25日(木)**までに
出欠をお知らせください

祝卒年表彰

今年の対象年次の方々には海原会より
記念品を贈呈いたします

（総会に出席していただいた方のみ）

- 祝卒業60年… 昭和32年卒
- 祝卒業50年… 昭和42年卒
- 祝卒業40年… 昭和52年卒
- 祝卒業30年… 昭和62年卒
- 祝卒業20年… 平成9年卒

著書「応仁の乱」(中公新書が30万部の大ヒット中の呉座勇一さん(平成11年卒)にお話を伺った。呉座さんは、歴史から現代に生きる私たちの教訓を導き出す「歴史家」でありたいと思っている。

専門である中世との出会いは2001年。大学3年で卒論のテーマを考えている時だった。冷戦が終わり、超大国のアメリカを中心に世界がまとまるのかなと思った矢先、9・11のテロが起きた。この先世界はどうなるのだろう



と当時は誰も
が思った。そ
して、呉座さ
んは閃いた。
古代は律
令制と天皇。

近世は江戸幕府と將軍家。近代になれば明治政府。中世はもっとも説明しづらい。武士の時代というけど、武士だけでもなく朝廷もあり寺院も力がある。民衆が台頭して一揆を起したりもする。いろんな秩序が混在していて一つの中心軸がない。イメージをつかみづらい中世をあえてテーマにするのがおもしろいと感じた。現代のような先行き不透明な時代に一番近い中世をテーマに選ぶことを決めた。

人の話題

ベストセラー「応仁の乱」著者 呉座勇一(平成11年卒)さん

とした戦略に基づいて実績を積み上げ大きな目標にたどり着くが、一般の人はそんなことなどない。ただ状況に流されるままに人生を進んでいくだけだ。

応仁の乱は中世最大の戦乱であるけれど

も、誰もあんなに大きな戦をするつもりはなかった。しかし、みんなが流されるうちにう人たちの話のほうで現代に生きる人の反面教師として参考になるんじゃないかと考

えた。

海城時代で思い出されるのは林敬先生の日本史だ。当時の海城では高2・3で日本史を履修したのだが、林先生の授業は内容が大学受験レベルを超えていた。細かく掘り下げるものだから進みが遅く、このままでは江戸時代で卒業を迎えてしまうということで長期休みに補習もしたが、それでも明治の頭ぐらいいまで卒業を迎えた。在学当時は不満もあつたのだが、そのマニアックな授業は日本史にある豊かな世界を教えてくれた。呉座さんは笑いながら言う。「今こうして日本史の研究者となっているのは林先生のちつとも進まない授業のおかげです」

現在興味のあるのは軍記物。歴史学の立

場からすると創作・脚色が多くて史料として軽んじられてきた。国文学からすると実に制約されて文学的価値がイマイチ。中途半端とも言えるが故に歴史学と国文学の成果を結集させた研究ができる。軍記物の作者も過去の人物であることは間違いない。作者の制作意図や脚色せざるを得なかった社会的立場などの背景を分析するのは十分に歴史学の範疇であると考ええる。

「海城時代に触れた直接経験に関係ないことが教養となり、気づけば役に立っている。海城生には受験に特化しないで教養を身につけてほしい」呉座さんは語った。「あと『応仁の乱』も受験の役には立たないけど、是非買ってください(笑)」

アピールも忘れなかった。

(国井信男 記)

海原会賞 俳句甲子園出場 の6人

海原会では、学園生活を通じて勉強だけでなくクラブ活動や社会活動などユニークな活動をしてきた生徒に対し、「海原会賞」を授与している。

今年の海原会賞は、第19回俳句甲子園に東京地区代表として出場した文芸部俳句班に決まった。

海原会賞は例年1〜2名の受賞者なのだが、今回は文芸部俳句班が団体として受賞したため、6名の受賞という過去にない多数の受賞者となった。海原会では彼らの栄誉をたたえ、賞状には団体名のほかに全員の名を記した。

平成28年度海原会賞

文芸部俳句班

萩原武 岡部将大 深澤直希

小林大晟 堀井雄太 近藤凌平

(卒業式次第掲示順)



他校も驚く成長 チャレンジ精神強い

海城の生徒がこの俳句甲子園に参戦し始めたのはわずか3年前である。全国大会に出場するには各地区予選を勝ち抜かなければならないが、東京地区には過去何度も全国優勝している開成高校があり、さらに並んで強豪校の東京家政学院がひかえている。そこを勝ち抜いて全国大会に出場するのは大変なことである。今回は投句審査で優秀校として全国行きの切符を手にしたのだが、それだけでも驚くべきことである。実際他校からは「海城はどのような教育をしているのか」とか、「よほど層が厚いのか」とか質問を受け一躍俳句有名校になっているようだ。この大会に向けて生徒を指導してきた国語科の本間純一教諭は「こんな大会があるからやってみないかと呼び掛けたら、やったことないけど面白そう、やって

(広報委員会)

海城吹奏楽団 第24回定期演奏会 音楽を「楽しんだ」一夜

海原会もささやかながらその活動を財政支援している海城吹奏楽団の定期演奏会が4月3日に東京・中野のなかのZERO大ホールで開催されました。今回で24回目、毎年恒例となりましたが、月曜日の夜、しかも雨という厳しい状況にもかかわらず今年も多くの父兄友人関係者が集まりました。

演奏は吹奏楽の定番といわれる「センチユリア」の軽快なリズムから始まり観客をひきつけます。今回の演奏会は「音楽を楽しむ」をテーマとして、曲目なども選んで構成したという狙い通り、演奏者



自身がいつもに増して全体にリラックスし演奏していたように感じられ、鑑賞者にとっても自然とリズムに乗って会場全体が盛り上がりつつあるに思えます。第一部は2曲目にスローな「ヨークシャー・バラード」、その後トランペットクラリネットなどの聞かせどころのある「イギリス民謡組曲」で締めました。続く第二部は海をテーマにサンバのリズムの「宝島」、CMで聞きなれた「海の声」、ジブリ作品の挿入曲「海の見える街」と続き最後はタイタニック号で最後まで救助活動が続け命を落とした若き航海士の物語を作曲した「マードックからの最後の手紙」という壮大な曲でまとめました。吹奏楽には珍しくピアノが入った曲目でしたが、ピアノは力量を感じさせる堂々たる演奏を披露しました。今度はピアノの曲

故郷の海城で「成人式」

平成27年卒者の「成人を祝う会」が1月8日(日)に開催された。20歳を迎える卒業2年目のOBが集うこの学園での「成人式」は今年で3回目を迎え、すっかり定着した感がある。



今年は講堂で式典を行った後にカフェテリアに移動しての懇親会という2部制となり、進行がスムーズになった。これは、過去の開催状況が先輩から後輩へきちんと申し送りをされてブラッシュアップされた結果である。新成人たち

完全中高一貫で6年間海城学園で学んだ世代だ。彼らには故郷といえる場所も親友といえる仲間も、居住地ではなく、海城のキャンパスの中にあるのかも知れない。彼らは全国の大学に進学しているにも関わらず、この日に合わせて多くが来校した。

リラックスした中でも厳肅な雰囲気で行われた式典では卒年の学年主任をされた内田先生(昭56卒)、海原会石原長夫副会長(昭33卒)など来賓の祝辞を受け止めた。式典の最後には生演奏での校歌斉唱。過去に聞いた中では最もテンポが速く、若さのあふれる校歌斉唱であった。

懇親会には多くの恩師が参加した。在学中は怒られたこともあったろう、言い返したこともあったかもしれない。しかし、この日に教える恩師の口から出たのは感謝の言葉とねぎらいの言葉。カフェテリアには共に盃を傾けあう師弟の微笑ましい光景があった。

(広報委員会)

同期8割が集まる

この度我々平成27年卒の「成人を祝う会」を、無事開催することができました。何と全体の8割ほどの同級生が集い、またお世話になった先生方にも多数ご出席いただき、素晴らしい会になりました。海原会の先輩方には様々な面で多大なご支援をいただきました。お世話になった皆様、本当にありがとうございました。

(「祝う会」幹事・菅野泰史)

海原会グッズの販売

お待たせしました！
定番のTシャツ・
ポロシャツ・帽子に加え
パーカーが新登場

海原会グッズはFAX、ホームページにて注文をお受けしています。氏名・送付先・電話番号・ご希望のグッズの品番・サイズ・個数をご連絡ください。お支払いはグッズに同梱した案内に沿ってお支払いください。

※会報に同封されている振込用紙はグッズ代金の支払いには使用しないでください。

Id: <http://www.unabarekai.jp>
FAX: 03-92633-9641
※ホームページはトップページ右上の「海原会へのお問い合わせ」ご連絡より



A1



A2



A3



B1



服のサイズ目安

M 170センチぐらいまで
L 175センチぐらいまで
XL 175センチ以上

A1	Tシャツ	価格 1,100円
	サイズ L XL	
A2	ポロシャツ	価格 2,400円
	サイズ M L XL	
A3	ポロシャツ旧校章	価格 2,400円
	サイズ M L XL	
B1	パーカー	価格 4,000円
	サイズ M L XL	
C1 C2	キャップ 青 2色	価格 2,500円
C3	キャップ 刺繍	価格 2,600円



もぜひ聞いてみたいものです。アンコールの後、最後は校歌の演奏で幕を閉じましたが、帰り道に雨にぬれた夜桜を眺めながら豊かな気分が駅に向かいました。

さて毎年のことですが高3の楽団員は今回の舞台がいわば最後の対外公演ということとなりますが、彼らを含めた楽団員による特別演奏を6月の海原会総会では例年お願いしています。定期公演を聴き逃した方はぜひ海原総会にお越しください。

(広報委員会)

永年会費納入者

(敬称略)

平成22	発知 佑太	平成28	金沢 好夫
平成21	相川 友祐	(五万円)	
昭和41	堀口 尚男	昭和56	塚田 達也
(五万円)		平成27	佐々木隆太郎
平成15	種村 諒	平成28	島川 海山
平成27	横山 達大	平成28	齋藤 行世
(三・三万円)		平成24	早川 宇宙
平成10	樋野 浩一	昭和48	馬場 直
(八万円)		平成28	吉田 正樹
平成27	春日憲太郎	平成01	谷口雄一郎
昭和31	越川 照夫	平成01	原田 新大
平成18	藤田 裕紀	(三・六万円)	
平成27	永田 浩大	平成21	藤田 学
平成09	藤本 英人		
平成28	湯原 拓也	昭和58	田所 直喜
平成24	新井 雄大	(十万円)	
(五万円)		寄付	
昭和63	土井 政人		
平成28	木下 遙介	(平成28年11月から 平成29年3月まで (受領日順))	

海城学園の創立125周年を祝う記念本

6月の海原総会で販売開始します

海原会では海城学園が昨年創立125周年、海原会も95周年を迎えたということをつの区切りとして、昭和の初期から現代に至る企画を進めてきましたが、このほど「海城学園創立125年記念誌」として完成しました。個人からの投稿をいただくこともインタビュー、座談会などで多くの卒業生のご協力を得ました。また本は写真も豊富に掲載し、読み物と資料、両方の性質を兼ね備えた、卒業生のみならず現役生、これからの未来の読者にも感動をあたらえる「歴史読本」となっています。

海原会総会で販売開始いたします。

制作 海原メディア会記念誌
制作委員会

定価 1,000円(税込)

表紙絵デザイン
(制作中)
富田勝彦
(昭和51年卒)

第6回海原会ゴルフ大会 参加者募集!!



昨年は67名の参加で盛大に盛り上がった海原会ゴルフ大会。今年も昨年同様に千葉県成田市の大栄カントリー倶楽部にて開催予定です。20組・80名を目標に参加者を募集いたします。幅広い世代の交流の場としてすっかり定着した本大会。各賞景品もさらに充実。ぜひご参加ください!

開催要項

ゴルフコース **大栄カントリー倶楽部**

〒287-0214 千葉県成田市横山638

Tel : 0476(73)5522 <http://www.taiei.cc/>

開催日時 **10月13日(金)**

会 費 プレー費 **17,000円**

参加費 **5,000円**

高齢者割引あり 受付で身分証明書提示

競 技 新ペリア方式

クラブバス 事前予約のうえ高速バスのバス停から送迎
詳細はコースのHPを参照してください

申し込み方法

出欠はがき 会報に同封されている 総会ハガキの下部にゴルフ大会参加申込欄があります。
チェックして返送ください。

FAX 03-6233-9641 (海原会ゴルフ会事務局 宛)

メール 海原会ホームページの「海原会へのお問い合わせ・ご連絡」から海原会ゴルフ会事務局宛へ送ってください
<http://www.unabarakai.jp>

申し込み締め切り **7月末日**

海原会サロン9月16日(土)・17日(日)

母校見学・同期との待ち合わせ等に活用ください

海原会では海城祭を訪れた海城OBが立ち寄れる場所として海原会サロンを開設しています。

海原会サロンでは海城の歴史やOB会組織である海原会の活動が一目でわかるような展示を行っています。海城の歴史、歴代卒業アルバム、各界で活躍する海城OB一覧、海原会の部活OB会・海外支部・業種別会の紹介など、年によってテーマを設定しつつ今年で8回目を迎えます。



海城の歴史が一目でわかるということもあり、昨年は海城学園の館内ツアー



コースに組み込まれ、多くの海城中学校への受験を考えている親子を迎えました。政官財から美術芸能まで、海城OBが活躍する分野は都内進学校の中でも群を抜く幅広さで、見学者たちは驚きをもって展示を見つめていました。

卒業生にとっては、歴代卒業アルバムが人気です。家族に自分の卒業写真を見せて「昔はイケメンだったんだぞ!」と証拠を見せる姿が良く見られます。皆様、ぜひご来場ください。

(海原会サロン部会)

見学会

ご家族揃ってもっと楽しく を検討中!

毎年多数の参加を頂きありがとうございます。昨年は歴史に残る海城の校門であった武家屋敷門(重要文化財)に感動、良かったですね。

海原会では、今後も皆様のご要望を取り入れ、提案いただければ幸いです。

今年の計画案の一つとして、例えば房総の中央部を走る小湊鉄道の「秋の房総を走るトロッコ列車」と称して、里山を走る上総牛久駅〜養老溪谷駅(約一時間)と温泉浴と徳川四天王の本多忠勝の大多喜城(復元)など見どころがいっぱいです。本多家と言えば武家屋敷門を思い出しますね。また養老溪谷では散策コースと温泉浴。途中、「市原ゾウの国」はゾウ12頭がいる動物園があり、どれもこれもご家族そろって「わーすごい」の場所です。

この計画案はいくつかのコースがあり、目下検討中です。催行予定は秋口と考えております。正式ご案内は海原会ホームページ、海城祭の海原会サロンにてお知らせします。どうぞ多くの知人友人ご家族お誘いあわせの上ご参加をお待ちしております。



写真は昨年の
武家屋敷門見学会

(見学会世話人
山本満男)



「那須高原だより」最終回

那須高原海城高等学校 元教頭
平成33年卒 塩田 顕二郎

3月5日、那須高原海城高等学校にて最後の卒業式がおこなわれました。わずか8名の卒業生ですが、19期生となる彼らの門出を祝おうと学校生活を共に過ごした先輩たちから1期生に至るまで70名を超すOBが参列し式に華を添えてくれました。

同日夜刻からは生徒の寮としてお世話になった桜美林大学多摩アカデミーヒルズに会場を移し、「感謝の会（閉校式）」を開きました。こちらにも卒業生、卒業生保護者、学校関係者合わせて200名を超える出席者が集い、21年間にわたる那



須高原海城の思い出をわちあいました。生徒と寝食共に

私は1996年4月の開校時に新任教員として赴任しましたので、新設校の立ち上げから閉校まで全寮制教育に挑み続けた那須高原海城と共に歩んできました。開校当時、全寮制男子校というのは日本ではまだまだ稀有な存在で、特殊な学校なのではと色目がちに見られることもしばしばでした。また、ほとんどの教員が全寮制教育の経験がありませんでしたので、毎日悪戦苦闘、試行錯誤の連続でした。私も新任からのおよそ3年間は寮に入り、生徒と寝食を共にしながら学校をイチから創り上げていきました。創生期の学校運営に携われたことは苦労も多かったですが、貴重な財産となりました。

先駆的な取り組み

さて、那須高原海城は、イギリスのパブリックスクールやアメリカのプレップスクールをモデルとしたボーディングスクールですが、しかし、このころの日本には欧米型のボーディングスクールは他になく、まさに日本における全寮制教育のパイオニアでした。パイオニアゆえの難しさをひとつひとつ乗り越えながら、5年、10年と教育実践を重ねていくなかで、那須高原海城モデルと呼べる全寮制教育が形づくられていきました。

全寮制21年の歴史に幕

の皆様のご理解とご支援により、2011年度は海城中学高等学校の3号館で速やかに学校生活を再開することができ、翌2012年度からは東京都多摩市の廃校を借用し、那須高原海城多摩キャンパスとして新たに歩き出すことができました。

アクティブラーニングの先駆的な取り組みである「パークネスメソッド」の導入、通学制とは異なる全寮制ならではの「Prep・Tripp制」や「5学期制」、コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力育成に主眼を置いた体験型プログラム「Kap (Ka)・SAP」に早くから取り組んでいました。まさにこれらは昨今注目されている教育です。そして、創立15年という節目を終え、さらなる高みを目指していた2011年3

月11日、東日本大震災が起こりました。福島県境に近い本校は震度6弱の強い揺れに襲われ、大きな被害を受けました。翌12日朝に海城中学高等学校へと全校生徒を連れて緊急避難、その移動のさなか、バスのテレビに映し出されたのが福島第一原発の事故でした。このときは夢にも思いませんでしたが、結果、この日を最後に那須に戻ることはできなくなりました。

大震災・原発事故

那須から新宿まで8時間かかって避難をした生徒たちはケガもなく全員無事に帰宅することができ、ひとまず安堵しましたが、今後果たして学校を再開できるのか、大変厳しい問題に直面しました。しかし、多くの皆様のご理解とご支援により、2011年度は海城中学高等学校の3号館で速やかに学校生活を再開することができ、翌2012年度からは東京都多摩市の廃校を借用し、那須高原海城多摩キャンパスとして新たに歩き出すことができました。

それから半年後の2012年秋、震災によるさまざまな影響を考慮し、新規の生徒募集は行わず、在校生がすべて卒業したのち「閉校」することが決まりました。将来の「閉校」を伝えるとき、多くの生徒たちが涙を流していました。この涙を見たときに、那須高原海城の全寮制教育は間違っていないかと確信できただけに、私自身も無念でなりませんでした。閉校が決まってから4年あまり。ナス



カイ生は今まで以上に那須海城を愛し、那須海城の伝統を最後まで受け継ぐために結束し、常に前を向いて努力をしてくれました。この懸命な姿に私たち教員は随分と励まされ心を打たれました。600人超の卒業生

那須高原海城は閉校となり「形」はなくなりますが、しかし、ひとつ屋根の下で同じ釜の飯を食べた仲間との絆は永遠です。那須高原海城からは600名を超える卒業生が巣立ち、すでにさまざまな分野で活躍していますが、1期生でもまだ37歳です。これからこそ那須高原海城の教育力の真価が発揮されるはずです。「ナスカイDNA」を持った彼らが日本、そして世界を舞台に躍動する姿を信じてやみません。最後になりますが、海原会の皆様にもこの21年間大変お世話になりました。創立時には天体望遠鏡などを寄贈いただきました。2010年11月には徳光会長に那須までお越しいただき創立15周年の講演会をしていただきました。多摩移転後は、土業会・メディア会の方が様々なワークショップを開催してくださいました。こ

鴨田先生退職記念の会

海城学園で42年にわたり教鞭を執られてきた鴨田芳明先生が3月いっぱいまで定年退職をされました。



3月14日（火）には「鴨田芳明先生ご引退記念の会」が行われ、現役海城生・教員・OBらが出席し鴨田先生との別れを惜しみました。

の場をお借りしてお礼申し上げます。那須高原海城の様子を海原会員のみなさまにも知っていただきたいと連載を続けてきましたが、この「那須高原だより」も今号で最終回となります。長年、ご愛読いただきありがとうございます。

梅 佳代写真集『ナスカイ』

写真家梅佳代さんがナスカイ生が多摩キャンパスでの日常を2012年から5年にわたって撮りためたものが写真集になりました。梅さんらしい視点で切り取られたスナップショットは、自然どこかユーモラスです。この写真集は亜紀書房から出版され3月初めから全国の書店およびオンライン書店で販売されています。定価は本体1996円＋税です。



温厚な人柄で「数学科の品格」と言われた鴨田先生。その一方で、出題を予想してピタリと当てることから「当たり屋鴨田」の異名もお持ちでした。

サプライズゲストとして鴨田先生が一番最初に担任を持たれたクラスから馬場剛さん（S55卒）が登場。昭和のころの海城の様子などを語ると、海城生は昔と今の違いに驚いていました。進学校としての海城の黎明期から見続けてきた鴨田先生。海城と海城生の益々の発展を信じている」との言葉を残し、学校を後にされました。

日大アメフトの レジェンド

栗原敏朗さん

くりはらとしろう (昭和34年卒)



去年の海城祭の時だった。数人の生徒がアメリカンフットボールの流線形のボールを投げ合って遊んでいたのだが、なかなかコントロールがでずに持て余していた。見ていた栗原さんが「貸してごらん」といつてボールを生徒に向かつて投げた。ボールはまっすぐに生徒の胸辺りに向かった。その時のボールを受けた生徒が「え、何これ」と信じられないような顔をしていた。無理もない自分の親よりも年上の人が突然いとも簡単に信じられないパスを投げるのである。だがその人が1960年代の日大アメリカンフットボール第一期黄金期の名QBだったと知って目つきが変わった。

原点は米兵のフットボール

日本でアメフトというスポーツが盛んになったのは近年になってからだろうと勝手に思っていたら、日本に紹介されたのは1920(大正9年)のことだという。しかも1947年(昭和22年)には第1回全日本大学選手権が開催されているというから大学でのアメフト熱も古くから

活発だったようだ。とはいえ栗原さんが高校に通っていた当時、もちろん海城にアメフト部はないし、今のようない防具もユニフォームもない。高校生の間でアメフトへの関心が高かったとは思えない。それでも栗原さんが大学でアメフトをやろうと思った理由が面白い。「もともとスポーツは好きだったので、野球とかサッカーとかには全然興味がなくて、中学は剣道、高校は柔道をやりました。でもどうも汗臭いのが苦手で。大学では何か別のスポーツをやりたいと思っていた…」と思い付いたのがアメフトだったというのです。高校の頃、家から近かった巣鴨刑務所で米兵たちが興じていたフットボールの試合をよく見ていて、「そうだからをやってみよう」と。

日大を目指す

「アメフトができる大学を調べていたら当時日大が強いというのが分かって。そこに柔道部の二年先輩がいたので話を聞きに行ったらお前、日大に来いと言われて

そこでもう入試のことなど何も考えず日大に行くことと決めてました。今考えると勉強もしてないのによく入れたと思います」。栗原さんが日大に入学した昭和34年(1959年)ごろの日大は甲子園ボウルという東西大学王座決定戦で西の強豪、関西大学を3年連続で破って日本一に輝く強さをみせていた第一期黄金時代といわれる時だった。それだけに「練習はものすごく厳しいものでした。一年の入部者は70人でしたが、先輩からは一割残ればいいなと脅かされ、実際夏合宿が終わった時残っていたのは10人でした」。

痛恨のパス

そんな中で栗原さんは2年生で「軍に

抜擢される。「柔道をやっていたので指先が強かったのでしょうね、ボールを掴んで投げるパスが得意でした」。そのパスは「関東一」といわれ、さらに加えてタッチダウンができるようになって、パスとランのできる要注意選手として注目されるようになって。ただこんな華々しいデビューを果たし

た栗原さんだが2年の時の思い出は今でも悔いの残る苦いものだと思います。「立教との試合で痛恨のミスパスをして負けてこの年甲子園ボウルに進めなかったのです」。それまで立教には勝っていたのでどこか油断があったといいます。しかしこの屈辱の経験があったからともいえるのだろう。翌年3年の時は「ロングパスの栗原」、4年では「ショート、ミドルの栗原」と言われる活躍をして連続大学日本一となっている。監督から引きとめられ、卒業後コーチとして後輩を指導することになった3年間も日大は優勝を続けた。宿敵関西大学を5年続けて破ったのは後にも先にもない歴史に残る快挙として語り継がれている。

日大アメフト部の練習がいつも厳しいのは当然だが、酒とたばこも禁止だそう。そこで鍛えられたからであろう栗原さんはいまでも汗臭い運動部のイメージからは程遠いスマートさを見せている。アメフトというスポーツに興味をわいてきた。(小西洋也 記)

われら 海城人

元祖ソムリエ

一匹狼で50年

野田宜正さん

のだよしまさ (昭和41年卒)

いまも定期的に開いているワイン会で野田さんは時々意地悪をする。20年も通っていてワイン通を自称する人に対して目隠しテストをするのだ。「何処このワインはどうだ。あの年代はこうだといつたお勉強で得た知識を元に分かっていけるようなことを言う人は大概目隠しすると当たらないです」としてやったりという顔をする。「知識は知識としていいのですが、知識と味は違うのです。極端に言えばソムリエという人たちも知識で酒の評価をしようとしている人が多いんですよ。有名ソムリエに対してもこんなこと言うもんだから嫌われるんですけ

ワインに活路を求めて

野田さんは江戸時代から続く老舗酒屋「野田屋」の五代目として生まれたが、大学進学の間までは別の道を進もうと思っていたこともあったという。しかし父親を早くに亡くした後の店を切り盛りしてきた母親の手伝いをしているうちに家業を継ぐ決心をする。時代は規制緩和、自由化に向かつて動き出し、免許制の酒屋にも自由化の波が押し寄せていた1970年ごろである。しかも「主力のビール、ウイスキーは売れても儲からないし、日本酒も低迷していて」とい

ソムリエの元祖

そんな実績もあつて野田さんは77、78年ごろからサントリーなどの販売会社や調理・料理関係企業などから求められて社員にワインのテイステイングや食べ物との相性など教える今というソムリエの

味覚は後から磨けない

でもなぜそのようなことができたのか最後に聞いてみた。「味覚の問題かな。子供のころ料理屋をやっていた母方の祖父父母に育てられたことが大きいと思う。祖父は根っからの料理人でお米を炊くときの水にこだわったり、いい魚がなければ出さないとか味や品質に厳しい人だった。子供心にこれはおいしいものだとか覚えて、この味は他と比べてどう違うか、なぜ違うのかといったことを教えられて育ちましたからね。野田さんに言わせると



どね」といながら真面目な顔にもどって「フランスなどでは品質の評価ランクというピラミッド構造が出来上がっているんです。しかし日本でこれほどお酒の歴史があるのに、お酒の品質の評価基準というものが確立されていないから味や品質というより、その時の流行とか営業的宣伝とかで評価が左右されてしまう。まあお酒は楽しく飲めればいいんですが、ちよと日本の酒文化はさびしいね」。

状況だった。野田さんがワインに目を付けたのは「このままでは酒屋はダメになる」という危機感からだ。そのころサントリーや明治屋などもようやくワインを取り扱い始めたが、ワインの事が分かる人はいない。「全てが手探りで」から勉強した」といいます。76年ごろにはフランス、ドイツのワイナリーを直接訪問、現地でワインを学ぶとともに直接輸入も手掛けている。またワインを売るために毎月違うワインを届ける頒布会を始め

ようなことも始めている。日本酒の利き酒会でいつもトップクラスの正解だったという野田さんは味、品質の見分けに関しては自信があったがワインのことはテイスティングの仕方でも分からずとにかく一から勉強するしかなかった。あちこちの試飲会に出かけて飲み比べ、入手できる本などを読んで覚えたといいます。「酒のことは誰よりも酒屋が知っていて当たり前」すべてはそんな酒屋の矜持からだった。そんな野田さんは「神の舌」を持つ

味覚は五感の中で最も記憶しにくい感覚で、しかも後から磨こうと思ってもできないのだという。「やっぱり3歳から6歳とか7歳とかじゃないかな。そのころに本物を味わっていないと。子供のころ偏食していたなんていう人は信用しないな」と厳しい。そしてもう一つは「酒があまり好きじゃないからです。好きな人は味覚より飲み心地へいつちやいますからね」。

(小西洋也 記)

デジタルハリウッド大学 学長

杉山 知之^{さん}

すぎやまとゆき(昭和47年卒)



日本初の株式会社立大学のデジタルハリウッド(以下デジハリ)大学の学長、杉山知之さんにお話をうかがった。

杉山さんが海城時代に熱中したのは海城祭だ。時は大阪万博の昭和45年。教室を借りて1人で展示を作り上げた。白いシートをスクリーンにして、切り取ったベトナム戦争の画像を流し、後ろからフラッシュライトがきらめく。BGMはロック。そんな今で言うマルチメディアショーだった。

大学で3DCGを研究

海城を卒業後は日本大学の建築学科を経て大学院に進んだ。オイルショックのころで希望の就職口が無かったのが大学院進学のきっかけだった。研究室では当時は珍しかったメインフレームコンピュータが使い放題で、3DCGのプログラムなど最先端につながる研究を行うことができた。

修士の2年の時、就職が決まり修士論文を出して卒業を待つばかりだったが教授から助手の枠が空いたからやれと言われた。

杉山さんは自分なりに楽しんでやった結果巡ってきた誘いを運命と信じ、就職先にはこてんぱんに怒られたが断りを入

れ、研究の道に進んだ。

8年ぐらいたったという間に過ぎ、いざさかマンネリを感じ始めたころ、千葉県の佐倉に最新鋭の研究所団地を造りM-I-Tメディアラボもくるという話が持ち上がった。時代はバブルのはしりで、コンピュータ時代の幕が開けようとしていた。M-I-Tは日本から研究者を3人募集することにし、ニコラス・ネグロポンテ(注)が直々に面接試験をした。

「でも、ネグロポンテが首を縦に振らないの。最初に日大が推薦した人たちはみんな不合格だった」と杉山さん。最後の最後に杉山さんに白羽の矢が立ち、スライドを使って身振り手振りで自分の研究について説明した。すると、ネグロポンテに気に入られ、87年の9月から3年間M-I-Tに留学することになった。杉山さんにとつて、まさに青天の霹靂であつたという。

M-I-T留学

M-I-Tに行つて最初の2週間で杉山さんは気づいた。21世紀は大変なことになる! どうもコンピュータは単なる計算の道具ではないようだ。ネットワークされることで、表現の道具になる、メディア自

身になる。今は当たり前のことだが、当時は誰も知らなかったことが、M-I-Tでは見えていた。コンピュータが作り上げる新しい世界を日本に広めるのが自分の使命だと強く感じるようになった。しかし、92年に帰国するとバブルがはじけていて研究所団地の計画は消えていた。

I-T技術学校設立

日本大学に戻つたが居場所がない。しかたなく、学内でCGプロダクション会社を作り、空いた時間でVRを研究した。すると、徐々に仕事が入り始め人手が足りなくなってきた。I-T技術を教える学校などないので人材の確保ができずに困った。

そんなときに東京芸大の大学院生がVRの美術館を作りたいと相談してきた。作品の数が多くて卒業制作展で飾り切れないのだという。何の知識もなかった専門外の学生だが、教えた半年で自分でソフトを操作できるようになった。これを見た杉山さんはI-T技術を教える学校は可能だと感じた。

まだ誰も手をつけていない今こそ学校を作ろうと決めた。そこからは大急ぎ。

94年の夏から立ち上がり、10月3日にデジタルハリウッド(専門スクール)を開校した。年末商戦にはセガサターンやプレイステーションの名が並び、ネットブラウザのネットスケープナビゲーターがリリースされ、年が明けるとwin95が発売された。本格的なインターネット時代の幕が開けた。開校からデジハリには多くの学生が詰めかけた。

現在、デジハリ大の学生は半分は留学生だという。

「どうせ学ぶなら本場で学んだ方が良いでしょう。クラシックならウィーン、近代美術ならNYC。で、ゲームアニメ漫画は? 東京でしょう」

ふと、杉山さんがデジハリ大の応接室の窓に目をやった。

「この仕事はね、国にも貢献できるし、文化にも貢献できる。世界中の若者に日本を心から理解してもらえれば、武力なんかいらんだよ」

神田川の向こうには秋葉原のネオンサインが輝いていた。

(国井信男 記)

(注) 計算機科学者としてアンドロイドングを得意とする、M-I-Tメディアラボの創設者。

「みんな元気？私が死ぬ前に集まりましようよ！」こんな調子で奥さんから電話が入る。もう利根山夫人はオバアちゃんで95歳になる。こつちも齢をとった。中には他界したり動けない者も居



たり、何とか仲間を呼ぶことができた。5、6年前までは草木もなびくように集まったのだが。(笑)

恩師の利根山先生は亡くなって20数年経つかなあ。お婆ちゃんはいつも海城のことを心配してくれている。ありがたいことです。なぜかというとお婆ちゃんも元聖徳大学の先生で教え子なのが気になるのです。海城はトネサンの居たから尚更です。今回はトネサンの薫陶を受け、今でも人生の教導を歩む先輩後輩たちが集ま

り、珍談奇談が飛び交い、知ってること知らないことをご披露に及んだ。トネサンほど変わった先生はいない。朝、遅刻寸前になると体育の高倉先生が自転車で大久保まで遅刻生徒を捕まえる。「来たぞ！」。民家の木戸をあけてトネサンと隠れた。過ぎ去ったあと、急いで一緒に裏手の小遣いさんとこか

利根山夫人を囲む会

昭和27年 山本満男

ら入った。こんな事もあった。放課後職員室の横の階段中ほどに机を置いて、生徒が描いた作品をウチワであおいで飛ばした。曰く「近くに落ちた絵は最高点、遠くに飛んだ作品は最低なんだ。どうだ！どうしてか」といってばい絵の具を使うと重いかから最高点なんだ。ウー。

なにしろトネサンとこに集まる人間は、我々だけでなくいろんな仲間が当時は集まった。飲めや歌えのどんちゃん騒ぎをやった。そのあとがいけない。へべれけになり嘔吐をするなり、トイレは汚すなり。あれから何十年、この話が出るとお婆ちゃんになった夫人は今でも鮮明に覚えていると言う。翌日が掃除で大変だったようだ。今日電話をした。お婆ちゃんはまだみんなの様子を心配している。

利根山光人先生の指導を受けて

利根山光人先生は、情熱を持ってハイレム・ノクターンの曲を絵に描きたいと、言っていた。中学時代はピカソに憧れ、利根山光人先生の



アトリエに行つてクロッキーの練習などをしました。毎日新聞ニュースが海城中学での制作状況の撮影に来たことを覚えていて。一時は絵の道も、と思つて先生に相談したら、他の道への可能性があるなら、別な道に行つたほうがよいとの示唆を受け、理数系への進学を考えることにした。先生からは亡くなられるまで、毎年、年賀状を頂き、先生

海城学園での六年間の出来事

修学旅行の体験

昭和二十八年(1953) 九月十五日の夕方、上野駅

昭和32年 佐藤光司

の列車で出発した。左右に煙突が立ち段々と暗くなつていく。大宮あ

私たちラグビー部の顧問であつた美術の草野勝視先生は、東京芸大時代にラグビーをやっていたそうである。このため先生はいわゆるラグビー部の指導もされたが、絵画的(視覚的)なアプローチにも具体的にされた。私

草野先生と8ミリカメラ

昭和55年 堀川一彦

ちは毎週土曜日の午後、東京都大会などの公式戦になるとラグビー部伝来の紺と赤のジャージを着て練習試合に臨むのであるが、引率の草野先生はいつも8ミリフィルムを持参されていた。それは先生の趣味であつたのかもし

れませんが、試合の前後半を問わず、先生はラインアウトというラグビー場の横の線に自ら立たれて私たちの一挙手一投足を撮影されていた。後日、ラグビー部の総会などでこの草野先生が撮影された「練習試合」や「公式試合」の8ミリフィルムを皆で見ながらOBの先輩たちが具体的なアドバイスをされる。カメラ

マンは一体何処へ飛んで行くのか分からないうちに楕円形のボールを、カメラを片目に当てたまま、前後左右に追つて撮影するので大変である。カメラはボールを中心に回っている訳で当然ボールに絡んでいない部員の姿は映っていないのでした。80分間走り続ける競技の絵画的アプローチによる具体的な評価もかくなるのであつた。

たりまでにヤミ屋が入つて来て古河駅まで眠らせろと無理矢理に座席の下に入り困つた。翌朝、福島駅に着き絵葉書を買ひ、そばを食べて腹ごしらえをした。平泉に着き中尊寺を見学した時、東北地方にもこれだけの文化があつたのは驚きの至りである。松島も割合と面白かつた。夜中は騒がしく遅くまで寝られなかつた。次の朝、早くに番頭に起こされ怒られ、後片づけの掃除をさせられた。その日は晴れており瑞巖寺で岩岡君に写真を撮ってもらつた。午後より塩釜港に船で行つた。この夜、夜行で東京に向かい朝早く上野駅に到着した。警察に没収されたヤミ屋の米が山積されていた。一列車でも相当量があり、ほかにトラックでもヤミ屋が活動している。政府の配給米だけで食べていけない。ヤミ米を厳重に取り締まつたら東京の人々は餓死するだろう。法律にしろ、世の中にしろ、全く矛盾に満ちていた。

1980年ごろの練習風景



田舎の小学校（伊豆稲取）を卒業後単身上京、海城中学に入学、祖母の元から通学し始めた頃、たまたま祖母の家にあったテニスラケットを見つけテニス部へ入部した。小学校の頃

まで病弱でテニスなど駄目と反対されたのですが、

どうしてもやりたくて、祖母の目を盗んでラケットを外道の道路に面した垣根の割れ目に前日のうちに隠しておいて、素知らぬ顔で家を出て

高校時代の懐かしい記憶

昭和32年卒 牛込壮造

のけの高校生活でした。

そのテニスでは、高校一年生の時、新宿区大会で優勝、東京都大会で1回戦敗退の悔しさ、山岳部では、高

隠しておいたラケットを持つて学校に行った。テニスのお陰でそれ以来、熱を出して寝込む事もない程健康になった。テニスだけでなく中学3年の時には山岳部へ、高校1年では

生物部&写真同好会
結成と部活に忙しく勉強はそっち



校二年生の夏、体力トレーニングを兼ねたサイクリングを計画し、朝六時新宿西口に集合、一路甲州街道を高尾山目指して快調なサイクリングで登山口に到着、ケーブルカーは使わずひたすら狭い山道で自転車を負担して担ぎあげ山頂に到着した。その達成感を二十名の全員で歓喜の雄叫びをあげ、その余韻を残しながら、その三十分後には帰路についたのですが、途中あまりの暑さに多摩川にて水浴びをし、最後の力を使い果たしへとへとになつて帰りついた記憶が、今になつても鮮明に残っている。

した。その花が六十年を過ぎて健在です。桜の寿命は百年と言われるようですが、百歳を目標に思う昨今です。

母校で入試があった時に三年生で立会いを言われたことは忘れられません。ロッテと大久保小学校に試験会場を借りに行った記憶があります。当時より入学応募者が多数あり、うれしく思っています。以降は海城の名が上がるようになり誇りに思っています。

当時、新宿のアイススケート場（現在は映画館）に行きスケートに夢中になった事も忘れる事は出来ません。また、浜松町にあった日活スケート場（今はありません）もよく滑りに行ったものです。群馬県の榛名湖へ仲間十人位で行ったことがあります。今でも思い出すのは、雪が湖面に積もっており、それを小山にして滑って遊んでいました。その時、中島康二君が滑って尻もちをついて頭を氷上に強く打ちつけて、軽い脳震盪を起こし、少しの間気絶状態で皆は驚きびっくりして慌てました。本人は暫くして何もなかった様に気が付きました。本当に良かったです。本人は今も憶えているかどうか知りません。

閑居雑感

昭和32年卒 山下祐司

閑居瞑想していると、不思議なことに冒頭の校歌の第一小節目が脳裏に浮かび、それとともに担任の長渡信久先生を始め幾人かの恩師の名前、顔が甦つて歌につれ往時を追懐する機会に恵まれた。なか

感じながら、白いキャンバスに初めて油絵具で静物画を描いた思い出、銅版に松脂と木灰を混合わせて塗付け、エッチングに取り組んだ思い出など貴重な体験を得ることができた。今でも海外や地方に出掛けたり美術館を訪ねる習慣は先生の影響と感謝している。

また同クラスの仲間と共に新聞部に入り、年一・二回のタブロイド



当時、画材店月光荘で画用紙を求め、デッサンをし、ベニア板の手作りパレットにテレピン油の匂いを

香貫山の桜

小さい頃、父が保険会社に勤務していた為に約三年毎に転勤を余儀なくされました。生まれてすぐ南朝鮮京城（現ソウル）に勤務。終戦後昭和二十年（1945）十二月に朝鮮より引き揚げて来ました。すぐに会

昭和32年卒 土屋勝比古

なる前まで何度かこの満開の花にめぐり逢い、気分を新たにしております。



分科会報告

「工業・医療・メディア・海志」

合同新年会開催

1月28日(土)高田馬場フラットリアにおきまして、4業種別海原会合同の新年会が行われました。昨年よりさらに人数を増やして44名の参加者での開催となりました。

会の冒頭では雨宮哲朗医業会会長(S62)・植松孝行メディア会会長代行(S58)のスピーチ、唐沢洋工業会会長(S41)の乾杯。そしてしばしの歓談となりました。途中、フラットリアオーナーの渡辺順也さん(H09)のお店紹介、美術家の富田勝彦さん(S51)の新作グッズ紹介、梶井直器さん(S45)の熊本復興支援の要請、マジシャンの日向大祐さん(H09)さん



の活動報告などのショートスピーチがありました。なお、熊本は小野泰輔副知事(H05)の縁があり、現役海城生徒会も復興に協力をしています。締めめの言葉は宮沢隆仁海志会会長(S41)。この会を昔話の場に終わらせず、



「メディア」

海原メディア会第五回総会報告

2月25日(土)海原メディア会の第五回総会がカフェテリアで開催されました。1月28日(土)に逝去した田所会長(S58年卒)に代わり、新たに植松孝行(S58年卒)が3代目会長に就任、新たな体制で第五期をスタートすることになりました。

前期の活動報告や会計報告に次いで今季の活動テーマを検討、「メディア」が大きく変動する中でメディア会の有資格者について今後検討していくことになりました。懇親会では、新たに会員となった伊藤宣天さん(S42年卒)浅賀洋之さん(S61年卒)、渡辺順也さん(H9年卒)の自己紹介を中心に、各会員の近況報告などがあり、校歌斉唱を終えて散会となりました。

現在海原メディア会では、海城学園125周年誌の編集・制作を進めており、5月には完成、6月の海原総会では頒布開始の予定です。

(昭和62年卒 松長哲聖)

海外支部活動

ボストン

学問の都に集う海城OB

外務省のプログラムでインターンシップをするためにボストンに行くことになった福田友童さん(H25卒)。彼から海原会へ連絡があったのは1月の終わりでした。「ボストンで活躍している海城OBはいませんか?」

ハーバード大学に留学している柳聖基さん(H16卒)にお願いして、福田さんがボストンに行った際に会っていただくことになりました。2月に入り、福田さんから無事に柳さんにお会いすることができたとの報告をいただきました。



した。福田さんは柳さんの手引きてハーバードのビジネススクールの授業を見学をさせていただいたとのこと。それも、「イノベーションのジレンマ」で有名なクレイトン・クリステンセン教授の授業を!世界トップのレベルをひしひしと痛感でき、とても貴重な機会になったと福田さん。海城という繋がりを大事にしていきたいという思いを改めて強めたそうです。

授業の聴講後に、2人は海城の先生の話や海外MBAのお話をする事ができたことですが、日本の裏側のボストンで新大久保から世界の話までできたというのは、痛快なような不思議な感じがします。

シンガポール

「ASEAN総会」開催

昨年結成のシンガポール支部の会合にあわせ、周辺アジア+東京のOBが結集、さながら「ASEAN総会」を開きました。

参加者は東京から国井信男(昭和62)・鯉坂志門(平成16)、シンガポールから坂入秀輝(平成05)・高橋良(平成05)、ジャカルタから岡崎宏幸(平成03)、プノンペンから小市琢磨(平成05)の6名。海外組の常として、帰任の報



告や帰任の可能性に触れる話が出ました。シンガポール支部の坂入会長も帰任辞令のテレパシーを感じていて、その際には高橋さんが次期会長に就任予定となりました。

シンガポールにはこの他にも何人もの海城OBがいるので、メンバーが入れ替わりつとも継続していければと思います。今回参加できなかった東南アジアのみなさん。次回の「ASEAN総会」では是非お会いしましょう。

(昭和62年卒 国井信男)

バンコク

全員集合!新年会

2017年1月16日に定例会場となりますタニヤの酒の店で開催しました。今回はお忙しい日程を縫って会員の皆さん全員が集合できました。次回は最長老の須坂先輩の「春たヨ全員集合」の掛け声の下4月頃の開催を予定しております。ご出張、ご旅行などでバンコクにいらつしやる事がございましたら平成7年卒業の宮本まで是非お声掛け下さい!ご歓待させていただきます。(平成7年卒 宮本裕一郎)



ロサンゼルス

新年会開催

1月28日に海原会しA支部は新年会を行いました。奇遇にも1月28日はLunar New Year(旧正月)でした。アメリカ西海岸はアジア系アメリカ人が多く居住しており、お祝いムードでした。新年会ですがいつもSonomi Sushiの宮田先輩(昭和45年卒)と玉栄先輩(昭和41年卒)の3人で執り行いました。アメリカで最も組織化された支部(!?)として、今後も活動を行い、親睦を深めようという結論に落ち着きました。最後は海原会のキャップをかぶり3人で記念撮影を致しました。(平成17年卒 大畑統之)



ジャカルタ

初代支部長の送別会

海原会ジャカルタ支部は、4月1日(土)に支部創立の立役者である岡崎宏幸さん(H3卒)の送別会を行いました。カンボジア支部立上げからジャカルタ支部立上げと、海原会発展に多大なる寄与を頂き、このたび3月末で日本へご帰国されます。激辛キムチ鍋と皆様の持ち寄りの銘酒で会は大変盛況に終えることが出来ました。岡崎さんに入れ替わりで新規メンバー1名の登録もあり、現在は総勢8名となります。今後も盛り上げていきます。

(今回参加メンバー)(敬称略)近藤、大崎、齋藤、岡崎、土橋(服部)



それぞれの才能を持ち寄る「ブレインシェア」の場とすれば、海城から世界へと発信する拠点になる、との話がありました。医療×メディア・工業×医療・官僚×メディア等々組み合わせは無限ですが、異業種の人脈が広がることでやれることは格段に増えます。今回も色々な出会いがあったようです。大学よりも遙かにアイデンティティの濃い高校の繋がり、心のよりどころであると同時に使えるツールになり得るようです。来年も再会をするし、それまでにおもしろい企画を実現させていこう、と誓い合い、散会となりました。
(広報委員会)

同期会 クラス会 だより



昭和28年卒 海原二八会 最終の同期会

戦後間もなく昭和22年、中学校の義務化にともない、一面の焼野に校舎の建設が間に合わず、海城学園の教室を借りることになって、男女共学の一年生が誕生した。女子の卒業生も出すことになった。

その二八同期会も今回を最後にすることとなり、三十名の仲間が集った。

各出席者のスピーチで始まったが、各人が、充実した内容の話となり、それぞれの人生を語ってくれた。全員の話が終るころには、この会合の時間も残り少なくなつた、すばらしい集まりだった。



ホーチミン

海原会会長出席で支部会

ベトナムのホーチミンにて有志によるゴルフと支部会を行いました。

東京からは徳光和夫海原会会長(S34)・坂本明久さん(S57)・国井信男(S62)が参加。ホーチミンの梶宏光さん(S37)・阿部健郎さん(S54)・藤本博也さん(S62)と親交を深めました。

東京組は日中にゴルフをした他にも観光をしたり、梶さんのお宅でドリアンなどのトロピカルフルーツをいただいたりしました。夜はサイゴン時代



の雰囲気の色濃く残る路地での郷土料理「軒家レストラン」での本格フレンチを堪能しつつ支部会を開きました。支部長の梶さんはプロゴルフアとして活動するほか、ゴルフやグルメツアーの旅行会社も経営しています。興味のある方はkai@hengofusaまでお問い合わせください。

(昭和62年卒 国井信男)

皆さんありがとう。お世話くださった会員の皆さんありがとう。

他界された会員の皆さん、なつかしく思われます。今後もしようしく願います。

平成28年6月19日 於主婦会館プラザエ

(片山忠実)

北総海原会

♪最後はハモニカ演奏で校歌を合唱

早いねえ。1年って！ 年が明けて1月29日、「飲み放題の居酒屋」で新年会を開きました。

正直言つて年齢を積み重ねた顔がそろつた。そうじゃなくてもキミマロ風に見える。

ば歳は増え、白髪も増え、しわは増え、血圧は増え、ゴキも増え、増えないのはお金と頭の毛だけです。高齢化社会です。

海原会だつて社会の一員です。他人事ではありません。何とか元気で体の具合が悪い人がウウウの今日この頃です。

今回は総勢12人の参加。もつと集まると思つたのですが残念です。



チャリティ音楽会で新年会

海原会・ジャカルタ支部の2017年新年会を1月21日(土)にLe Quarterにて行いました。

参加メンバー(敬称略)は濱田・近藤、大崎、齋藤、岡崎、服部の6名でした。前段はRai Restit Keranegaraにて行われたチャリティーコンサートにて皆でクラシックを鑑賞、その迫力と繊細な演奏、ウィットに富んだMCを堪能しました。コンサートの目的はインドネシアの孤児院の寄付とのことで、海原会としても協賛させて頂きました。日本からお越しになったピアノの愛知とし子様とインドネシアを代表する若手チャリティストのAlifan Emir Ady.君(写真中央の御二方)も演奏後でお疲れにも関わらず新年会へ参加いただき、非常に盛会となりました。

海原会・ジャカルタ支部は、今後も文化的活動、BBQ、釣り、ゴルフ等の幅広い交流会を企画する予定です。
(平成5年卒 服部康治)



それでも昨年結成して、2回目とはいえ、お互いの親近感ができてそれなりに盛り上がった。やはり回を重ねることが大事ですね。

なんてつたつて、元副会長の安藤さん(S34)のハモニカ演奏です。安藤さんは奥様の認知症を考えて、近所の集まりで演奏してるそうです。

出来上がったところで、あらかじめ用意した歌詞をぶら下げ、忘れかけた数曲の唱歌をみんなで歌ったんです。曲につられて杉山(S36)さんが立ち上がり指揮をとつての大奮闘。安藤さんは話によると60曲位持つていけるとの事。ウー。

あまりの盛り上がり、店主から銘酒八海山一本寄贈、更にマジシャンが登場という大サービスの大盤振る舞い。最後にハモニカ演奏で校歌を合唱。そして元事務長の森山(S41)さんの音頭でサンサン手拍子でお開き。有難うございました。北総海原会は生活を共有して「ぶらり散歩」を楽しみたいと思います。

(S27卒 山本満男)

昭和32年卒 海原KG-32会 つわもの 兵どもの「温故知新」

恒例の新年会を、1月13日吉祥寺にある同期の藤原亀吉氏の経営している「ビザハウス・トニー」で開催された。今回は11名の参加者に減っている。すでに逝去された方もいるが、存命中でも病氣などで出席できないものもある。

今回は、昭和27年卒の山本満男氏と植野妙実子氏をご招待の予定でしたが、植野さんが欠席となり淋しい思いもありましたが、山本さんが当時のことに詳しいので面白い話を聞きました。植野さんは河原先生の娘さんで現在中央大学の教授です。



我々海城高校32年卒が作った手製本「温故知新」(99ページ)の中で、原稿を書いて戴いた同期の「思い出」に、利根山光人先生の強烈な印象を強く感じています。そこで海原会からの紹介で「利根山弥恵子夫人を囲む会」に出席し山本満男さんと知り合いました。縁は異なものです。そして、今回KG-32会にご招待したのです。

今回、10名のうち9名は中学からの同級生で銀行家、政治家、自主経営者など、多士済々で珍しい酒やワインを持ち寄って、毎年正月に集まります。帰りにはビザなどお土産をもつて散会しました。

体力をつける中学、自己意識と学力をつけて将来の進路を考える高校を共に歩んで来ました。そして印象に残る先生や三角山とか、相撲を取った砂場とか思い出話は尽きないものです。

(佐藤光司)

昭和36年卒 36会 何でも話せる関係を大事にしよう

36会の幹事新年会が2月3日、東京四谷・長崎県東京産業支援センターで開催されました。幹事新年会とはいえ参加は自由。「自称世話人」を含め「久しぶりに仲間と一献かたむけるか」という御仁も含め、総勢14人が顔をそろえました。

例によつて酒肴は各自の持参。メーブルが上がるにつれ談論風発もいつもの通りで、目下、注目の「働き方改革」も話題に。過酷な労働で女子社員が死に追いやられた問題では「あれは上司の責任」「仕事の選択はよく自分の適性を考えたほうがいいな」「社員に過重な労働を強いけないと仕事が成り立たないというの



はどうかおかしいよ」などなど意見は様々。

また、昨年末に出版された36会の同人で故寺崎央君の遺作「ショウワの常識」が好評なことも報告。映画、音楽、ファッション、文学と「昭和の若者文化」に多大な影響を与えた寺崎君の異能ぶりにひとしきり座は盛り上がりしました。「ショウワの常識(1800円・税抜)」は、通販サイト・アマゾンでTSUTAYA六本木ヒルズ店で購入できます。

なお、36会の今年の行事については、秋頃にバス旅行を行うことなどを衆議一決。散会後、有志が四谷荒木町方面に流れたのおなじみの光景。「とにかく元気できてこそ人生。ゆるい集まりだけど、何でも話せる関係をいつまでも続けることが肝心」としみじみ感じた寒い夜でした。

(瀧本 喬)

溝口舜亮君を偲ぶ会

12月8日(木)午後6時から海城36会卒業55周年記念の年内最後のイベントとしての忘年会(溝口舜亮君を偲ぶ会)が開催されました。

会員の「木村弘昭」氏の提供で、駒込の六義園を眺望する都内の別荘「ブリリア駒込六義園」に有志16名が集結しました。最初に故「溝口舜亮」を偲んで献杯。その後、皆が持ち込んだ酒(日本酒、ビール等)を飲み、故「溝口舜亮」君を偲んで歓談したり、持ち込んだ肴を食べたり、お互いに写真を撮ったりして午後9時に散会しました。

参加者は(敬称略)赤石、秋元、伊藤、大森、岡本、金澤、木村、鯉沼、郷古、迫田、佐多、杉山、林平井、水野、山田です。

(瀧本 喬)



昭和41年中学卒 同窓会 3年連続の開催

「続けることが大切」との声に励まされ、2月25日(土)20名が新宿に集まり、3年連続の開催となりました。初登場は、秋山公夫君、海保薫君、マレーシアから帰国



した島野仁君、弁護士士の平出一栄君の4名でした。2クラス95名の出来が悪く、何かと問題を引き起こした学年でしたが、国会議員、大学教授、会社社長・役員、さらには弁護士まで輩出しているとは。これも羽田昶先生のご指導の賜物です。皆、今年67歳になりますが、故人が12名もいて、最新の名簿に食い入るように見ている姿が印象的でした。2次会、3次会も深夜12時まで続いたとか。

(千賀孝雄)

昭和44年卒 6組クラス会 卒後初のクラス会開催

大変遅くなりましたが、昨年の10月22日(土)に卒業後初めて開催された昭和44年卒6組クラス会のご報告をさせていただきます。

当日は海城学園内のカフェテリアで17時より開始となり、当時の6組在籍50名中15名の参加を得ることが出来ました。入学以来ちょうど50年目にあたり小田・酒井・伊藤・山口の4名で幹事団を発足し、悪戦苦闘の果て何とか開催にたどりつけました。

卒業後初めて顔を会わせる人も多く、変わり果てた姿(笑)でぶら下げた名札を見ながら「おおーお前か」と懐かしむ光景が繰り広げられました。参加者全員が卒業後の自己紹介を行い、楽しい歓談のひと時を過ごしました。



その後は有志で大久保駅前の居酒屋で二次会を行いました。ほとんどの方が参加していただき、酩酊しながら解散いたしました。

担任の向山先生とクラスメート2名が残念ながら鬼籍となっており、残り48名の内まだ20名の現住所が不明です、もしこの記事をご覧になってお気づきの方は連絡をお願いいたします。

2月25日には今年の幹事団が初会合を開き、今年のクラス会の日程等を決める予定ですので、楽しみにして下さい。

(山口 清)

昭和58年卒 8組クラス会 他組の友も加わり開催

今年で3年連続となります昭和58年3月卒業の8組(担任：黒木先生)のクラス会を3月19日(土)に開催しました。



場所は新大久保駅前の鍛冶屋文蔵で19時スタート。

2年ぶり参加したメンバーは昨年から参加したメンバーと久しぶりのご対面。1年ぶりに会うメンバーは1年の時間流れの早さを感じたり...

新たに連絡が取れた人の情報や物故者の情報を共有したり...

20時過ぎには10組の大多和君が合流し、TV出演時の裏話を聞いたり...

今回もあつという間に2時間30分経過し、次回の再会を約束して解散。

【参加者】

写真テール左前から、大多和、井手口、大畑、深沢、花田。右前列左から奥村、高橋、木綱、後列左から堀、堀内、大島、会田の12名

(奥村周永)

昭和62年卒 同期会

卒30年 総会に参集を

早いもので卒業から30年です。

人相が原形をとどめない人も若干いますが、基本的に高校の時とノリは変わりません。今回の同期会はちよつと奮発して高田馬場のFLATTORIA。平成9年卒の渡辺さんのお店です。

卒業から30年も経つと亡くなる同期もいます。昨夏に亡くなった小林文明君は



天国からの写真参加となりました。

6月の海原会総会のあとに記念同期会をやることになり、実行委員も決まりました。参加者100人！と言いたところですが、現実的な70人を目標にメンバー集めをします。皆さん、この節目に集まろうではありませんか。(国井信男)

平成7年 有志の会

集合すれば一気に18歳

平成7年卒業生の有志の会です。2016年の年末に永久幹事の上野さんの号令の元集合しました。

不惑となり家庭職場では落ち着いているはずの面々ですが、集合すれば一気に18歳に戻ってしまうから不思議なものです。

平成7年卒業の方で参加されたい方は宮本まで是非ご連絡下さい!!

yuchiro_miy@bbl.co.jp

(宮本裕二郎)



平成20年卒 同窓会

来年は卒10周年同窓会を

2016年12月10日に平成20年卒の同窓会がありました。この代は大体2年に



一度全体の同窓会を開催するのですが、卒業から8年も経つと遠方に引越している人の割合も多くなってきたのを感じます。そろそろ結婚したメンバーもちらほら。早い人だともう子供がいるなんて話題も上がっています。

今回は先生方も4人ご参加いただき、60名での同窓会でした。次回は2018年の年末に卒業10周年同窓会を企画予定です。

連絡先不明のメンバーもまだ多数いるので、もしこの会報を読んで「俺のところに連絡来てないけど!」という人がいたら左記メールアドレスまでご連絡ください。

(津村) kaifu.2008gra@gmail.com

(津村大樹)

OB会だより

野球部

創部70周年祝賀会を開催

野球部は今年で創部70周年を迎えました。若き日の河原孝好先生(S15卒)が創部されたときは物のない時代で、「子どもが腹を空かすから練習をさせるな」と言われたこともあったそうです。河原先生は畑でイモを作りそれを差し入れしながら練習をさせたのだとか。

野球部OBである徳光和夫海原会会長(S34卒)は自身が在籍した昭和30年代を中心に、エピソードを交えて祝辞を述べました。プロ野球に進んだ選手の話。甲子園にもっとも近づいたといわれた時代の話。六大学野球で活躍した選手の話…。

終戦直後に生徒と先生で整地した手作りの校庭は、数年前に人工芝のグラウンドになり、今日も野球部員が白球を追いかけています。



今後も80年、90年、100年と歴史を重ねていく野球部のさらなる飛躍を信じ、会はお開きとなりました。

鉄道研究会

新年会 総勢31名が参加

1毎年恒例の鉄道研究会OB会の新年会が平成29年1月8日(日)に開催されました。今年に残念ながら顧問の井口先生が欠席となりました。



生が欠席となり、昭和50年代の先輩から現役大学生、さらに昨年の長野電鉄貸切電車に参加された海城OBの方を含め総勢31名が参加されました。昨

車に関する報告や鉄分濃い目の出席者の近況報告、そして各種お土産や鉄道関連グッズの交換などで今年も大いに盛り上がりしました。2時間半はとても短く感じられ、盛会のうちに終了致しました。

なお、OB会では鉄研OBと鉄道に興味のある海城OBの方の参加をお待ちしております。参加を希望される方、お問い合わせなどはメールアドレス:info@kajitokenob.com(キチ)へ一報下さい。

(平成6年卒 花田高広)

サッカー部

100名超参加 恒例の初蹴り

1月8日(日)海城学園グラウンドにお



きましてサッカー部の初蹴りが行われました。

若手を中心に年々参加者が増えるこのイベント。今年ももう数えることが出来ませんでした。

た。100名は超えているかと。伝説の顧問・半澤先生も今年もお元気を姿を見せてくださいました。

噂では、サッカー部に限らず、ラグビー部OBも参加したという初蹴り。ボールを抱えて走り出す選手はいとこいなかっただとか。門戸は広く開かれているので、皆様どうぞご参加ください。

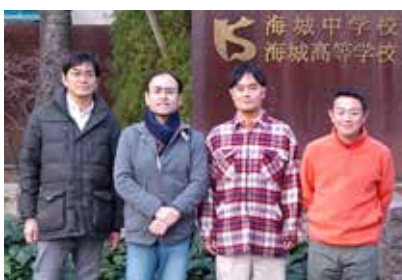
海城柔道部 昭和61年卒同期会

61年卒4人で第二回「海柔会」

卒業31年よわい50、JK無縁だったヤワラー4人が土曜昼下がり戸山の門をくぐりました。中村先生のご案内のもと、まず柔道場に足を踏み入れました。久々に畳の感触を味わい、ニオイも満喫(?)しました。私達の時代もあったOB札を眺めた(泣泣)平成以降だ、S61の俺たちの名は…遠い彼方の忘却の果てか…道場の場所が変わっても後輩が立派に後を引き継いでくれて安心しました。柔道部顧問の関根先生から練習内容や対外成績を伺い、クサかった柔道着に思いを馳せたのも束の間、中村先生から矢継ぎ早に建物からグラウンドからご紹介いただき

ました。1時間半食堂・図書館から教室まで大満足のうちに学園生活にタイムスリップできました。オババはお元気なんだ・理科館でCーさんに説教されたな(。そういえば私達の頃は海中あがり140人に高校入試組500余人が加わり、試験の成績に一喜一憂していました。そんな緊張を和らげていたのは何だったか?それは同志である友か:30年経つて身に沁みる同級生の有難みです。

新大久保駅前に場所を移し、「鳥良」にて5時前から酒席開宴です!アルコールが進むにつれ、タイムマシンに乗船している自分たちがいました。一つ頭に浮かんだ事も自分自身が海城で6年間身を置いていたなら: 厳しい物言いを許していただければ、自分なりの那須海城20年を総括する意味があるのではないかと。



7時にG君が会流し、同期7人中5人が一同に顔を揃えました。中国・天津赴任中のO君・親御さん看病のS君はじめ全員息していることが何より嬉しいことです。8時に長野伊那の人に戻ったA君・9時に宮城へ帰った私・株価気になるN君・残った2人と最後ラーメンをすすったN君、来年の再会を望みつつ各々家族のもとへ引き揚げていきました。

「海柔会」第一回成功です!!これもひとえにセンター試験直後並びに入学試験直前のお忙しい中ご協力いただいた中村先生並びに国井副会長のご尽力の賜物です。ありがとうございました。(浅賀洋之)

文実生徒会OB会

卒業初のクラス会開催

94代国井さんに始まり、106代齊藤さんを通して、2017年1月3日(火)に115代津村へと文実・生徒会OB会の会長の座が引き継がれました(数字は高校2年生時の文化祭の年数)。この会は、世代は離れていても、会う度話題は尽きず、最後には「海城最高だよ!」で締めるそんなメンバーで構成されています。わかりやすい活動としては、文化祭時に過去の文実Tシャツやパンフ、ポスターの展示、OBの講演等々。僕の代では2年に1度、学年の全体同窓会を企画しているのですが、他の代では卒業後ばかり会うこともなくなり、同窓会の話題も全くながらないなんて話をしばしば耳にします。卒業してまだ年が浅いOB達はなかなかじっくり考える機会もないと思いますが、この中高6年間の出会いや経験が結構な財産です。卒業したらそれっきりなんてなんだか寂しいしもったいない。

文実・生徒会OB会は今年から、現役生と年齢の近い20代OBを増やして、卒業生にも在校生にも中学受験生にも、海城の魅力と、海城生でいる(いた)ことの誇りを広く楽しく伝えられたらな、とぼんやり考えています。近いうちに若手OBに連絡するのでまずは気軽に会えるとう嬉しです(もちろん30代以上も随時募集しています)。



(平成20卒 津村大樹)

合格おめでとう
ございます

国公立大学

	学部	総数	医	現役	医	卒業生	医
東京大学 合計 49 (現役40, 卒業生9) 推薦1含む	文科一類	7		6		1	
	文科二類	7		7		0	
	文科三類	9		6		3	
	理科一類	16		12		4	
	理科二類	9		8		1	
京都大学 合計 6 (現役5, 卒業生1)	理科三類	1		1		0	
	文	0		0		0	
	法	0		0		0	
	経済	1		1		0	
	教育	0		0		0	
	総合人間	1		1		0	
	理	2		1		1	
	工	1		1		0	
	医	0		0		0	
一橋大学 合計 17 (現役13, 卒業生4)	薬	0		0		0	
	農	1		1		0	
	法	3		2		1	
	経済	6		5		1	
東京工業大学 合計 11 (現役8, 卒業生3) AO3, 推薦1含む	商	2		2		0	
	社会	6		4		2	
	第1類	3		2		1	
	第2類	0		0		0	
	第3類	1		1		0	
	第4類	0		0		0	
	第5類	1		1		0	
	第6類	4		3		1	
北海道大	第7類	2		1		1	
		8	2	7	2	1	
東北大		6	4	4	3	2	1
秋田大		1	1	0		1	1
山形大		1	1	1	1	0	
筑波大		7	6	4	3	3	3
群馬大		3	2	1	1	2	1
埼玉大		1		1		0	
千葉大		8	2	6	2	2	
電気通信大		1		1		0	
東京医歯大		5	4	4	3	1	1
東京外大		2		2		0	
東京学芸大		1		1		0	
東京農工大		5		4		1	
横浜国立大		3		1		2	
山梨大		3	3	1	1	2	2
信州大		1	1	1	1	0	
浜松医大		1	1	1	1	0	
名古屋大		4		1		3	
鳥取大		1	1	0		1	1
島根大		1	1	0		1	1
愛媛大		1	1	1	1	0	
高知大		1		1		0	
首都大東京		2		2		0	
横浜市立大		1	1	0		1	1
奈良県立医大		1	1	0		1	1
防衛医科大学校		3	3	2	2	1	1
防衛大学校		1		1		0	
国公立大学・大学校総数		156	35	114	21	42	14

※「医」は医学部医学科の合格者数(東大理Ⅲは除く)

私立大学

	学部	総数	医	現役	医	卒業生	医
早稲田大学 合計 156 (現役102, 卒業生54) 推薦7含む	文	10		2		8	
	文化構想	12		4		8	
	法	20		16		4	
	政治経済	28		24		4	
	商	10		8		2	
	社会科学	11		7		4	
	教育	8		5		3	
	人間科学	3		2		1	
	国際教養	4		3		1	
	基幹理工	13		8		5	
	創造理工	11		9		2	
	先進理工	25		13		12	
	スポーツ	1		1		0	
慶應義塾大学 合計 104 (現役69, 卒業生35) AO1, 推薦1含む	文	6		2		4	
	法	10		5		5	
	総合政策	1		1		0	
	経済	30		25		5	
	商	14		7		7	
	理工	37		24		13	
	環境情報	1		1		0	
	医	3	3	2	2	1	1
	薬	2		2		0	
		2	2	0		2	2
岩手医大		6	6	2	2	4	4
国際医療福祉大		1	1	1	1	0	
獨協医大		5	5	4	4	1	1
埼玉医大		1		1		0	
文教大		1		1		0	
尚美学園大		1		1		0	
中央学院大		1		0		1	
帝京平成大		2		0		2	
東京歯大		1		1		0	
青山学院大		6		4		2	
学習院大		2		0		2	
北里大		7	3	5	1	2	2
杏林大		1	1	1	1	0	
工学院大		4		1		3	
駒澤大		1		1		0	
芝浦工大		16		12		4	
順天堂大		20	19	17	16	3	3
上智大		25		22		3	
昭和大		9	7	4	4	5	3
昭和薬大		1		1		0	
成蹊大		3		1		2	
中央大		48		23		25	
帝京大		6	4	2	1	4	3
東京医大		7	7	3	3	4	4
東京工科大		1		1		0	
東京慈恵会医大		14	14	12	12	2	2
東京農大		5		4		1	
東京薬大		1		0		1	
東京理大		90		57		33	
東邦大		6	6	5	5	1	1
東洋大		3		2		1	
日本大		27	9	13	4	14	5
日本医大		5	5	2	2	3	3
日本獣医生命大		1		0		1	
法政大		25		10		15	
星薬大		4		4		0	
武蔵大		2		2		0	
東京都大		4		3		1	
武蔵野大		1		0		1	
武蔵野美大		8		8		0	
明治大		84		34		50	
明治学院大		2		1		1	
明治薬大		2		1		1	
明星大		1		1		0	
立教大		18		15		3	
麻布大		2		0		2	
神奈川大		3		3		0	
マリアンナ医大		3	3	2	2	1	1
金沢医大		2	2	1	1	1	1
愛知医大		1	1	1	1	0	
藤田保健衛生大		1	1	1	1	0	
同志社大		2		1		1	
立命館大		9		0		9	
関西医大		1	1	0		1	1
兵庫医大		1	1	0		1	1
私立大学総数		765	101	462	63	303	38

29年度大学入試結果概観

学習指導部長 森 昭大

今年3月の卒業生(28年度高3)は中学からの入学生のみとなった4年目の学年であり、帰国生入試が始まった初めての学年でもありました。卒業生は315名で、文科コースが3クラス(123名)、理科コースが5クラス(192名)の8クラスでした。

昨年度と比べると、文系だけが約30名多い学年でした。現役生は最後まで伸びるとよく言われますが、それを地で行く学年でした。指導に真摯に耳を傾け、それを着実に実行に移す生徒たちの努力が結果、実したと言えるでしょう。現役進学率は61.0%で昨年より少し下がりましたが、志を貫徹すべく再挑戦することは決して悪いことではありません。教職員一同を代表してエールを送ります。是非頑

張ってください。さて、大学別の合格状況は別表の通りです。東京大学の合格者は現役40名、既卒9名と健闘しました。現役生は実に2次受験者の47%が合格を勝ち取ったことになり、最後の勝負強さが光りました。その背景の一つはセンターでの高得点です。特に難化したとされる国語で、他校と比べて海城生が失点を抑えられたことが大きかったと思います。文系は、2次がやや難化したため2次での逆転が難

しかった、つまりセンターの結果がそのまま合否に影響しました。一方理系は、2次が易化して2次での逆転が起こり得たと分析しています。逆に言えばセンターの結果がよくても油断できなかったとも言えます。いずれにしても、これらの分析は後出しでもっともらしく述べたに過ぎず、受験生は今も昔も万遍なく準備するしかありません。東大推薦入試で理学部に2年連続で合格者があったことは嬉しいニュースでした。国際地学オリンピック、日本大会で金メダルを獲得した廣木颯太郎君が、東大の求める「特定の分野や活動に関する卓越した能力、もしくは極めて強い関心や学ぶ意欲を持つ」人物と認められての合格です。一方、国公立医学部に関してはやや厳しい戦いでした。国公立大医学科の志願者数は全国的にはここ数年右肩下がりでありますが、首都圏は厳しい入試が続いています。結果的に、首都圏ではセン

タ1900点満点中およそ90%。地方でも85%が必要条件でした。これは東大理系と同程度かそれ以上です。

現役卒業生に占める合格者の割合

入試年度	2017	2016	2015	2014
現役東大・京大・一橋大・東工大計 ／在籍	66／315 21.0%	52／287 18.1%	67／276 24.3%	45／269 16.7%
現役国公立医学部(理Ⅲ除く)+防衛医大計 ／理科コース在籍	21／192 10.9%	26／190 13.7%	25／182 13.7%	20／165 12.1%

国公立大では学部再編が進んだり、入試で英語の外部試験が一部で導入されたり、多面的評価をする推薦入試やAO入試が拡大したり、新しい動きが活発になっています。しかし、海城生には対応する力が十分にありません。先を見据えつつも、入試制度の変化に右往左往する必要がない、泰然自若とした海城の教育でありたいと思います。

利根山先生の作品 8Fのロビーで展示中

一昨年、利根山夫人から学園に寄贈されたトネサンのリトグラフ(石版画)数点の内2点の作品が展示されています。



昭和62年卒記念同期会

【日時】6月10日(土)18:00～ 【場所】高田馬場フラットリア
3月の定例同期会の席で実行委員会立ち上げました。費用等や企画はこれから詰めていきます。5月中旬に案内のハガキをお送りしますので国井信男までお返事ください。

おばばのお疲れ会

【日時】 7月2日(日)15:00から
【場所】 第1部 海城学園講堂 第2部 海城学園カフェテリア
【会費】 4,000円
【申込】 海原会HP「問い合わせ・ご連絡」から
海原会FAX 03-6233-9641
申込〆切 6月30日(金)

【会報バックナンバー閲覧パスワード】

ホームページの活動レポートからパスワードにて会報のバックナンバーの閲覧ができます。 ユーザー名:kaihou パスワード:k125.U95

自薦他薦、海城OBのお店情報を
お寄せください。

海腹グルメ⑧

北浦和 斗乃蔵 TONOKURA

京浜東北線の北浦和駅。東京のベッドタウンにあるのが今回紹介する斗乃蔵だ。北浦和駅西口徒歩1分、路地裏にたたずむ隠れ家的ダイニング。ほつこりと落ち着ける空間の店内にはモダンジャズとともに豊かな時間が流れている。

店主の渡辺靖さんは昭和51年卒。高校時代はサッカー部だった。体を動かすのが大好きで、冬場の体育がサッカーだったりすると他のクラスの授業にまで友情出演(?)するほど。半澤先生から「あれ? おまえ、前の時間もないかった?」と言われたことも。おもしろい時代だった。その一方で、海城で学んだことは「自己責任」。好きなことをしてもさっちゃん帳尻を合わせる精神は今も役に立っている。



海城卒業後は一浪を挟んで青山学院大学へ進学したがすぐに中退して、キンビールの外食会社へ。たまたまで本社の商品や店舗開発などに関わるところまで上り詰めた。37才で独立し、経験を生かして飲食コンサルタントに転身。8年ほど活躍したある日、思うところがあつて地元に戻り斗乃蔵を開店。

「実際のお客さんの笑顔が欲しくなった」と渡辺さん。飲食コンサルタントは形が見えない空気感を売る商売。



と渡辺さん。飲食コンサルタントは形が見えない空気感を売る商売。

自分の提案が形になることにやりがいを感じたが、それだけだと満足ができない自分を見つけた。



お店の一押しはやっぱりビール。もちろんキンビールだ。「キンへの恩義があるからね。ウチの生はビト味違うよ」

ビール以外の飲み物も豊富。中でも日本酒は、何でこの銘柄がこの値段なの?という掘り出し物もあるからメニューを要チェックしたい。ジャンルにとらわれず和食イタリアン・フレンチの要素をクロスオーバーさせた多彩な味わいを提供。

斗乃蔵の斗は酒樽のこと。酒蔵をイメージしたお店は40代以上が落ち着いて飲める雰囲気。年末恒例となっている昭和51年卒の同期会をしたこともあるという。このときばかりは落ち着いて飲むというより、高校時代に帰って楽しいお酒になったそう。

★特典★

初回来店に限り、平成29年6月30日まで来店時に海城OBであることを告げるとキン一番搾り生ビール中を一杯サービスになります。

斗乃蔵

さいたま市浦和区北浦和4-5-2

伊吹ビルB棟 1F

TEL 048(823)7250

営業時間 17:00~23:30 日曜・祝日休

(国井信男記)

おばば引退

「おばば」こと内田直枝さんが引退することになりました。昭和40年代半ば以降の在校生とOBなら知らない先生はいたとしてもおばばを知らない人はいないはず。おばばは多少耳が遠いほかは今も元気です。「何かあつてからじゃ遅いから、決めたのよ」(おばば談)。1学期いっぱいには営業をするとのこと。有志で「おばばのお疲れ会」を企画することになりました。ご都合の合う方は是非ご参加ください。



編集後記

◎ロッテ新宿工場・国鉄アパート・おばば・めとき。私の海城時代の日常がどんどん遠くに行つてしまします。(国井)
◎那須高原の文化祭を訪れたことを昨日のことのように思い出しました。ここまでナスカイを守り続けた先生方、お疲れ様でした。(岡本)

◎校門にクスノキがある。空を掻き分け伸びている。常緑樹で老木になつても緑の濃淡をつけ見事な樹冠になる。クスノキは江戸から東京への歴史に現れる。名家の門など。昭和に移つて当時の校庭のど真ん中?にあつたという。このクスノキこそ海城の歴史をたづねり眺めていたに違いない。佐賀藩古賀家の代表木か、どなたが植えたの。(山本)

◎戦後の学園の思い出として必ずと言っていいほど登場するロッテの工場、ついに本格的な解体作業に入った。工場脇の細い道は残つてはいるが、新しくビルでも建つたら分からなくなるだろう。時の流れを実感する。(小西)

◎1月の「成人を祝う会」に出てその出席率の高さに驚いた。時期的にも難しい時代だが結束力が高い。恩師の先生との懇談が楽しかった。The World is Waiting for you! 柴田校長が標榜する方向を感じた。(石原)

編集担当

山本満男 (S27)
片山忠美 (S28)
石原長夫 (S33)
小西洋也 (S41)
大町一夫 (S51)
国井信男 (S62)
岡本浩太郎 (H02)